



夢みるこども 基金だより

NO.22

2017年(平成29年)9月13日第22号

歯医者さんのご協力で、こどもたちの夢を、こどもたちの未来を、支え続けて**23年**

夢みるこどもたちが
全国から集い

23回目のイベント

夢を叶える
こどもたち

～羽ばたけ未来へ～

が開催されました!

イベントに参加した
夢と希望に満ちた11人!

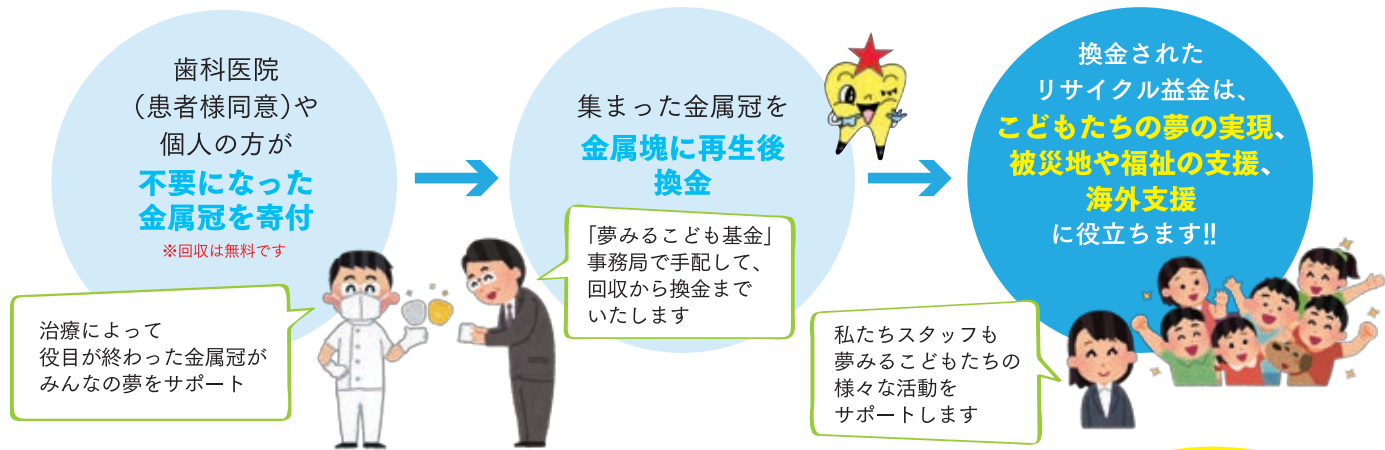


こどもの夢応援団

主催: 夢みるこども基金

後援: 福岡県、福岡県教育委員会、福岡市、福岡市教育委員会、佐賀市教育委員会、唐津市、唐津市教育委員会、NHK福岡放送局、
31都府県歯科医師会、歯科関係学術5団体、佐賀森林管理署、西南学院大学 など

治療で不要になった金属冠をこどもたちの支援に!



10月と11月が金属冠定期回収月間です!

ご入会について

協力歯科医院の**お申し込みは随時受け付け**ています。14ページの登録用紙を切り取り、FAXにて送信してください。HPからもご登録頂けます。**登録費、年会費はございません。**
ご入会頂くと、直ちにポスター、回収箱(木箱・内ボトル2個)をお送りします。
内ボトルに金属冠を貯めて頂き、基金事務局までお送りください。

金属冠は随時受付中

金属冠の回収は年間を通して受け付けていますが、特に**10月と11月を定期回収月間**としています。
少量しか貯まっていなくてもかまいませんので、
集荷フリーダイヤル(ゆうパック**0800-0800-111**)へ電話し、《基金着払い》でお送りください。
直接基金事務局(☎**092-751-0021**)へ電話されても結構です。

金属冠集荷フリーコール

ゆうパック

☎0800-0800-111

夢みるこども基金は金属冠の回収を正確、クリアするために、金属冠は基金に直接送って頂いています。
基金は設立時から国税局の指導を受けながら業務を進めており、協力歯科医院に対しては毎年度「夢みるこども基金だより」と一緒に決算書などを送付しています。金属冠を送って頂いた歯科医院などについては、その都度受領証と感謝状を送り、基金備え付けの帳簿に受け入れ年月日、重量などを細かく記録しています。課税関係などで問題が生じた時にも対応出来るようになっていきますのでご連絡ください。

国税局の指導の下、
運営しています

みなさまの
ご協力を
お願いします



編集後記

夢みるこども基金のイベントに携わるようになり、気がつくとも14年目になっていました。最初は作文コンクールの受賞者として、第10回のイベントに参加しました。あれから13年ほどが経ち、私の身の回りも大きく変わってきました。高校生になり、大学生になり、大学院生になり、いわゆるこどもと呼ばれる時代ははるか昔に終わってしまったような気がしています。同級生の多くは、社会で活躍しています。幸いなことに、研究者になるという目標を変えることなく、大人になることが出来ました。そんな私が、今年のイベントでは、こどもたちの前で夢についてお話しする機会を頂きました。初めてイベントに参加した13年前のことはもちろんですが、こどもの頃から現在まで、いつか、自分はどうやって生きてきたのか、何を目標に生きてきたのか、久しぶりにじっくりと考えることが出来ました。普段携わっている植物の研究は、野外調査をしたり、室内での実験をしたり、コンピュータを用いた計算を行ったりと、様々な作業があります。しかしその多くは、それぞれ学年の違うこどもたち全員にわかりやすく伝えることは非常に難しいです。そこで今回は、こどもたちにとって、出来るだけ共感してもらえようように、なぜ、森林の植物に興味を持ったのか、興味を持ったあと、どうしたのか、なぜ、研究をしたいと考えるようになったのか、こどもの頃の経験がいかに今の私にとって重要だったのか。こどもたちにとっては、難しい話も多かったことと思います。しかし、そんな中でも、私自身の話で、こどもたちに夢と今のつながりについて意識する機会となっていれば、とてもうれしいです。

イベントにはたくさんの方に携わって頂きました。参加して頂いたこどもたちをはじめ、ご家族のみなさま、OB・OGのみなさま、登壇して頂いたみなさま、関係者のみなさまに感謝いたします。また、最後になりますが、基金のイベントは、全国の歯科医院のみなさまのご協力を賜り、23年目も無事に遂行することが出来ました。ありがとうございます。今後も、こどもたちの夢をかなえるイベントを続けていきたいと考えております。

OB・OG会副会長、基金理事
岡部 憲和



発行 夢みるこども基金事務局

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1丁目12番6号 赤坂Sビル2F
TEL 092-751-0021 FAX 092-751-0249 E-mail jimukyoku@yumemirukodomo.jp

夢みるこども基金

検索



facebook もご覧ください!
「夢みるこども基金」で検索してください!

夢が叶った人、夢を追いかけている人たちの 熱いメッセージ!!

今回のイベントは、キャンペーンのOB・OGを中心とする
「こどもの頃の夢を叶えた」大人たちと、「これから夢に向かって進む」
こどもたちとの交流をテーマとしました。

★開会宣言・開会メッセージ
イベントの開会宣言を務めたのは、関西創価中学校(大阪府)の山口伸太郎君。落ち着いた様子でステージへ上がり、元氣よく開会宣言をしてくれました。

★キャンペーンを通じて結んだ「絆」と叶えた「夢」
開会セレモニーでは、本キャンペーンを通じて歯科医師を志し、実際に夢を叶えたOB・OG会会長の長尾怜美さん基金理事・第1回参加が、ビデオレターを通じてこどもたちにエールを送りました。長尾さんは、小学校4年生のときに起きた阪神淡路大震災における救助隊やボランティアの活躍を目にして、「私も人の役に立ちたい。人の役に立つ仕事をした」との思いを抱き、本キャンペーン第1回「こども会議」で、同震災により被災したこどもたちとのホームステイを提案し、イベントで震災孤児のこどもたちと2泊3日を共にしました。そして、現在でも彼らとの交流は続き、キャンペーンが結んだ絆は今も切れることなく結ばれています。

長尾さんが歯科医師を志したのは高校生の時、ちょうど長尾さんがキャンペーンのボランティア・スタッフとして第7回のイベント準備に携わっていた時でした。当時、長尾さんは、毎日基金事務局へ通い、スタッフと共に汗を垂らしながらイベントの成功を目指していました。そんなある日、長尾さんは、ふっと「こどもたちの夢を応援する夢みるこども基金の活動は、まさに、私が小学生の頃抱いた『人の役に立つ仕事がないか』と感じました。この気持ちを引きつかけにして、長尾さんの夢は走り始めます。『夢みるこども基金の活動を支える歯科医師は、患者さんだけでなく、こどもたちの夢実現にも役に立っている仕事』と思い、九州歯科大学へ進学します。そして、晴れて歯科医師となり、現在では、小児歯科の専門歯科医師として活躍しています。

長尾さんは、以前基金理事を務められたアグネス・チャンさんの言葉を紹介し、「参加者のこどもたちに対して、『大人はこどもを信じて夢に向かって頑張つてほしい。』と参加者のこどもたちと呼びかけ、最後には先生や友達、この基金で出会った仲間たち、すべての出合いを大切にしながら夢を叶えてほしい。』とビデオレターを締めくくりました。



養原花佳さん

★夢シンポジウム
今回のメインイベントである「夢シンポジウム」では、まず2名の若き「大人代表」が、ステージに立ちました。

★「知りたいことを学ぶ先に夢がある」
最初に登壇したのは、現在、宮崎市内の保育園で保育士として活躍する養原花佳さん。養原さんは、早速、普段保育園で行っている手遊び「うさぎとかめ」を披露し、会場内ではたくさんの笑顔が見られました。

養原さんは、高校生の時にボランティアとして聴覚支援学校を訪れた際に、聴覚障害の無い先生が手話を使っている光景を、今でもはっきりと覚えているといいます。養原さんは、この時「もっと特別支援教育(障害などにより特別な配慮を要する生徒への教育)について知りたい。」と感じ、特別支援教育の世界へ飛び込みます。そして、進学した大学で

特別支援教育について学んでいたある日、先生から「障害のあるこどもについて知識がある保育士さんは少ない。」と保育士への道を勧められ、保育士になる、と決心します。養原さんは、「最初から保育士を目指していたわけではないけど、『学びたい。』という気持ちで保育士という『夢』を呼び寄せた。『学ぶこと、知らないことを知ろうとすることが、夢につながる。』と力強く語りました。

★小さな私を忘れずに
続いて、OB・OG会副会長で基金の理事でもあり、現在、九州大学大学院で森林の生態系について研究を行っている岡部憲和さん(第10回参加)がステージに立ちました。岡部さんは、ガラスの森(「高層ビル」の中で育った自身が、なぜ世界の森の研究者になったのか、世界中の美しい山々や生き物の写真を紹介しながら語ってくれました。

岡部さんは、幼い頃より「銀河鉄道の夜」など冒険物語が好きで「いつか冒険に出たい。」と夢みていました。そんな岡部さんと森が繋がったのは、中学2年生の時。とあるシンポジウムで1枚の写真を目にした時でした。北海道大学苫小牧研究林を写した何気ない風景写真でしたが、この写真が岡部さんの将来を決定づけました。

「森ってすごいな。もっと森を知りたい。森を冒険したい。」高校生になった岡部さんは、アルバイトで貯めたお金を基に日本各地の山々を巡ります。たくさんの人や生き物と出会い、森林についてより専門的に学ぶため九州大学へ進学します。大学生時代においても、森への情熱は衰えることなく、森林の研究者を目指して同大学大学院へ進み現在に至ります。幼い頃に大都會の真ん中「ガラスの森」で見た「夢の舞台」は、日本を飛び出し「世界の森」へ今も広がっています。

岡部さんは語ります。たった1枚の写真を引きつかけに飛び込んだ研究の世界で、今でも情熱を絶やすことなく研究を続ける理由。それは「こどもの頃の感動が忘れられないから。」そして「サッカー日本代表の本田圭佑選手が語った言葉を引用して『私の中にも小さな私』『リトル・オカベ』はいる。皆さんも、大人になった時に『リトル・あなた』を大切にしたい。」と呼びかけました。



岡部憲和さん

夢を叶えるこどもたち ～羽ばたけ未来へ～

イメージキャラクターはミンゴ・はっくん



シンガーソングライター松本さんの呼びかけで、イベント参加のこどもたちやスタッフ、来場者も一緒に「愛は勝つ」(KAN)を合唱し、会場内は歌声いっぱい。

イベント参加のこどもたち… 仲間 彩さん(小2)/川崎 瑛太君(小4)/真鍋 華琉さん(小4)/河野 瑛太君(小4)/大川内 望夢君(小6)/山口 伸太郎君(中1)/金子 和矢君(中2)/緒方 太郎君(中2)/花井 理子さん(中2)/森松 花菜さん(中3)/坂井 美友さん(中3)

「夢みるこども基金で体験出来たこと、そこで出会えた人達から学んだことを大切に、夢に向かって頑張ります」
医師へ、宇宙飛行士へ——
自分が目指す道への努力を誓った中学生の瞳はまばゆいばかりの輝きを放っていました。

本年度は23年間の基金の活動の中でこどもたちがどのように成長し、夢を叶えたか、夢に向かって努力しているか、などを「先輩」たちから語って頂きました。基金の絵・作文コンクール(応募作1,699件から小、中学生、48名が入賞)で全国から選ばれたこどもたちは、自身の将来の夢を重ねて生き生きと語る先輩たちを眩しそうに見つめていました。

イベントは「夢を叶えるこどもたち」羽ばたけ未来へ」をメインテーマに、7月30日、福岡市の西南学院大学西南コミュニティセンターホールで開かれました。基金のキャンペーンはこれまで延べ300名を超える参加者を数え、約半数の参加者は既に社会人として活躍しています。夢を叶えた先輩として保育士が、研究者の夢を叶えつつある大学院生が、夢を追いかけて日々励む中学生2名が登壇。その道に進みたいと思つたきっかけ、その想いが育まれていった基金の活動や人との出会い、夢に向かって

日々努力していることなどを熱く語りました。二人の中学生からの発案で、本年度作文最優秀賞に選ばれた仲間彩さんの難病と闘っているお父様を励ましたいという参加者一同で作ったご家族の似顔絵を、来場されていたお父様へ贈るサプライズがあり、会場全体が温かい空気に包まれました。29日の前夜祭は佐賀市三瀬村「夢みる基金の森」にて秘密基地づくりやハノンモック体験などで森に親しみ、相次ぐ豪雨災害などで地球温暖化の影響が懸念される中、自然環境を守つてゆくことの大切さなどを学びました。

夢の実現のために努力すること——勉強はもちろん、それ以前にもっと大切なことがあることを基金に参加するこどもたちはすっかり理解していました。今回はOB・OGがボランティアで多数参加、「後輩」の面倒をよくみてくれました。地道な活動で蒔いてきた小さな夢の種がしっかりと根を張ってきていることを確かめられたイベントでした。

● イベント日程

- 1日目/7月29日(土)
佐賀県背振山系
「夢みるこども基金の森」で野外活動
- 2日目/7月30日(日)
福岡市 西南学院大学で、最優秀作品受賞者の自己紹介、夢シンポジウム、手話ダンス、雅楽演奏 など

「夢みるこども基金」の活動は歯科医師のご協力で成り立っています。

夢を追いかけている 中学生2人のメッセージ!!



金子和矢君



緒方太郎君

★中学生の大きな夢
大人たちの発表の後には、2名の中学生が夢を語ってくれました。

「広い視野を持った 医師になりたい」

まず、桐光学園中学校(東京都)の金子和矢君がステージへ。金子君は、幼い頃にお母さんを手伝い曾祖母の在宅介護をした経験から医師を目指しています。現在は、難関とされている医学部への進学を目指して、毎日一生懸命に勉学に励んでいます。しかし、金子君が思い描く理想の医師になるためには「勉強だけでは足りない。」と言います。

シンボジウム最後は久留米大学附設中学校福岡県小の緒方太郎君。夢は、宇宙飛行士です。緒方君は、小学校2年生のときに学校の図書館で『小惑星探査機「はやぶさ」宇宙の旅』を読み宇宙飛行士になりたいと夢を得て、中学2年生となった今でも変わらない夢に向かって走り続けています。緒方君も金子君と同様に夢を叶えるために勉学に励み、体を鍛えるために剣術を始めたそうです。緒方君も夢実現に向けて大切に行っていることを教えてくれました。

緒方君には、ずっと大切にしている宝物が3つあるそうです。前述の本、宇宙飛行士古川聡さんのサイン入りポスター、そして、キャンペーン第18回作文・絵コンクールにおいて最優秀賞を受賞した際のトロフィーだそうです。緒方君は『土星と地球をつなぐ』というタイトルの絵でキャンペーン作文・絵コンクールで入賞し、初めてキャンペーンのイベントに参加しました。それ以来、毎年宇宙にまつわる絵を描いて応募してくれています。緒方君にとって、本キャンペーン作文・絵コンクールのために絵を描くことは、「原点に返ること」だと言います。『夢を追いつけるために毎年絵を描いている。』この言葉を聞いて、筆者を含め(基金スタッフ一同は、グッと背筋が伸びる思いがしました。

「夢の原点を大切に」

イベント 参加者からの 感想

「みんなの夢を応援したい」

ご縁があり、夢みるこども基金の夏のイベントへ参加させて頂きました。どんな夢をもった子どもたちがいるのだろうと胸を膨らませ、いざ参加すると、本当に素直で素敵な子どもたちに驚きました。保育士として子どもたちのために何ができるのか、ひとりの大人として何ができるのかを改めて考えさせられました。どんなに些細なことでも本人にとって大きな夢。夢は叶えられるんだ!と子どもたちが夢に向かって頑張るには周囲の応援もとても大切です。小中学生の一人ひとりが思い描く夢を応援したいという基金の願いに改めて素晴らしいことだと感じた1日でした。今回参加した子どもたちがこのイベントをきっかけにさらに大きく成長できることを願っています。

「2日間はとてもいい 経験になった」

私はこの夢みるこども基金のキャンプに3年ぶりにOGとして参加しました。今回私は小学2年生の子とペアでお世話をする事になっていました。人のお世話な

多彩なプログラム

今回のイベントでは、YOU&I北野による手話ダンスの他、筑紫女学園高等学校宗教部による雅楽演奏、松本ともみさんによる歌がイベントを華やかに飾ってくれました。YOU&I北野は、今回で7回目の出演となり、今年も「手から心へ」をモットーに元氣よく手話ダンスを披露してくれました。これからのユニバーサル社会を生きることもたちにとって、とても貴重な体験となったことでしょう。

●初出演の筑紫女学園高等学校宗教部の皆さん。雅楽と聞き、演奏が始まる前には、なんだか畏れ多く親しみがない音楽をイメージしていましたが、ミッキー・マウスマーチの軽やかな演奏に始まり、多くの皆さんが雅楽に親しんで頂けたのではないかと思います。古来よりわが国に伝わる雅楽の音色によって、私たちの心に刻まれた音感が呼び覚ま



筑紫女学園高等学校 宗教部の皆さん

され、音が身体に吸い込まれていくような気分になりました。●最後は美しい歌声を披露してくださったのは、シンガーソングライター松本ともみさん。歌声で会場内の多くの人々の心を癒しました。イベント参加の子どもたちだけでなく、松本さんの呼びかけでキャンペーン・スタッフや会場に集まった来場者も一緒に「愛は勝つ」(KAN)を合唱し、会場内は歌声いっぱいになりました。

★子どもたちから彩ちゃんのお父さんへ

現在、難病と闘っている今回のイベント参加者仲岡彩ちゃんのお父さんに、子どもたちが描いた大きな絵がプレゼントされました。



仲岡さんファミリー

仲岡さんのお父さんは、一昨年度に(難病)多層性運動ニューロパチーを発症し、現在闘病中です。そんなお父さんの姿を見て、彩ちゃんはお父さんの回復を願い、お父さんと同じ病気の人たちの命を救いたい、と作文に綴りました。会場のすべての人が彩ちゃんのお父さんの全快を祈らずにはいられませんでした。



読売新聞は7月31日付朝刊で、イベントの様子が掲載してくれました。仲岡さん一家にも励ましの電話などがあつたそうです。

「中学教師を目指す私に とてもためになった」

お世話された側だったので正直とまで退屈なんだろうなと思っていました。でも、一緒にいろんな活動をしていくと私のほうまで楽しくてはしゃいでしまいました。ホテルで夜中に部屋の子が枕投げをしたり走り回ったりして少ししか寝られなくて、次の日きつかったことは絶対に忘れられません。それだけ楽しかったと思います。また、以前参加したときに一緒に来た人たちもいて、成長した姿を見て驚きました。そしてその人たちの夢シンボジウムでの発表は、私にもっと努力しないといけないと思わせてくれました。短い2日間だったけれど、とてもいい経験ができました。これからもうずっとこの基金と関わっていけたら良いなと思います。

古賀 純治 昨年度参加した際、活動内容がとても有意義に感じたため今回OBとして参加しました。1日目森林散策。去年植えた樹木の苗が育っている姿を見ると感慨深いものがありました。今年植えた苗も、根を張り、枝葉を広げて成長していくことを願っています。2日目夢シンボジウム。4名のパネラーによる夢の発表では、夢を叶えた人、今夢に向かって頑張っている人の話を聞きました。それらの話は現在、中学校の教員になるという目標に向かって努力している私にとってとてもためになるものでした。イベントへの参加は大きな思い出のひとつになりました。

こども会議

当日集まった子どもたちは、作文や絵に表現した自身の夢について語り合ったほか、毎年開催している夏のイベントについて話し合いました。

今年は作文では弥永小学校の仲岡彩さんの「わたしのかなえたい夢」(絵は桐光学園中学校の金子和矢君「日本一の流鏑馬師!」が最優秀賞に選ばれました。仲岡さんは、病気を患っているお父様を治すことのできる、お医者さんになりたいという夢を書いてくれました。彼女の朗読を聞き、目頭が熱くなりました。金子君は、迫力のある流鏑馬師の絵を描いてくれました。お二人の夢の話に、会場には拍手が溢れました。

夢みるこども基金は、設立以来これまで、夢をテーマにしたコンクールを主催し、その受賞者とともにその時代に合った社会貢献を実施してきました。それらは阪神淡路大震災での子どもたちへの支援をはじめ、バングラデシュの学校の建設、環境問題への取り組みなど、多岐にわたります。これらのいずれもが、コンクールで選ばれた子どもたちの夢や意見をもとに実施されてきました。

今回のこども会議も、夏のイベント内容を決めることが大きな目的の一つでした。全国各地から集まった小中学生は緊張しながらも様々な意見を述べてくれました。会議で出た意見をまとめた上で、事務局で何度も打ち合わせを重ね、今年のイベントは「夢を叶えること」も「まち」に決定。かつて夢みるこどもだった少女がどのように夢を叶えたのか、叶えようとしているのか、そして、今の子どもたちは夢のために何を考えているのか。参加する子どもたち全員が、将来に希望を持てるようなイベントを実施しようと考えました。

基金に10万円を寄付

福岡経営企画(池田浩一社長)は、平成29年5月19日チャリティコンサート売り上げの一部10万円を基金に寄付してくださいました。

コンサートは、福岡市アクリス福岡シンフォニーホールにグランドピアノ4台を並べ、8人のピアニストが連弾する迫力満点の演奏でした。福岡経営企画は、こどもたちの「夢」の実現に取り組んでいる基金を応援しています。

今年も 基金のイベントに寄付

福岡市早良区有田の岡部眼科医院の岡部知剛院長が7月30日のイベントにおいてになり、今年も寄付金(5万円)を頂きました。岡部院長は基金創設時から何度も寄付をくださって、金属冠も提供して頂いています。

絵の部



金子 和矢君
神奈川県 桐光学園中学校1年
東京都在住 (入賞当時)

僕は弓道部に入り、弓道の目標「真・善・美」を学びました。さらに技術を高め、流鏑馬師になって世界中の人々に日本の伝統芸能を伝えていきたいです。



物語を創る



藤野 日向子さん
福岡県 春日市立春日西中学校2年
(入賞当時)

私の夢は小説家になって大好きな物語を描くことです。ペンのインクからいろんな世界が生まれているようなイメージで描きました。



Ratatouille



馬場 恋雪さん
福岡県 春日市立春日西中学校2年
(入賞当時)

私の夢は絵を描く仕事をすることなので、絵からいろんな世界が現れる絵を描きました。



仲岡 彩さん
福岡県 福岡市立弥永小学校1年
(入賞当時)



初日の出への誓い



西山 凜音さん
鹿児島県 鹿児島市立紫原小学校5年
(入賞当時)



おせちを作りたい



渥美 日菜子さん
福岡県 田川市立弓削田小学校2年
(入賞当時)

わたしのかなえたいゆめ
ふくおかしみなみく やなが小学校
一ねん一くみ ななかあ あや
わたしは、おとうさんがだいすきです。
はたらきもので、いえにはとんどいないけれど
いえにいたるときは、つかれたからおもしろいし
やさしいです。それに、ものまねをしたり、
ふざけたりするととてもたのしいおとうさんで
す。
きょねんのなつ、とつぜんにういんしま
した。
ガンときあしがうごかなくなるげんいんふめ
いのびうきでした。
わたしのきもちも、どうしておとうさんがこ
んなびうきになるの。もう一かいおいご
こやサッカーがしたいのに、いまはもうで
きないからさみしいです。
おとうさんはいま、いっういんをなんかい
まして、うごかない手やあしのリハビリをし
ています。くるしそうだけど、びうきをな

おそうとが人ばっているおとうさんを見て、
わたしもいっう人なべんきょうをして、おとう
さんをおしてあげるぞときめました。
わたしはいま、おこづかいで本をかいまし
た。っからだのしくみの本でウィルスやさ
いぼうをしらべています。からだのしくみが
ぜんぶわかったら、おとうさんのびうきを
せたいにおして、そのくすりをつくら
みせたいです。
このびうきのくすりが、せかいじゅうの
人たちのいのちをすくえたらいいなとねがっ
ています。
そして、おとうさんが早くげんきでけんこう
にいそがれますようにとしんじています。
おとうさんのびうきがなかつたら、むか
しのようにかぞくみんなであそびたいです。



日本一の流鏑馬師!



コレテス リッチモンド君
福岡県 福岡市立博多中学校1年
(入賞当時)
フランス料理のラタトゥイユを
作っているシェフ。
将来の自分の姿。



Ratatouille

第23回 絵の部・入賞者リスト(23名) 応募総数/482点

	名 前	学 校 名	題 名
最優秀賞	金子 和矢 (男)	神奈川県 桐光学園中学校 1年	日本一の流鏑馬師!
優秀賞	藤野 日向子 (女)	福岡県 春日市立春日西中学校 2年	物語を創る
優秀賞	馬場 恋雪 (女)	福岡県 春日市立春日西中学校 2年	絵画の世界
優秀賞	コレテス リッチモンド (男)	福岡県 福岡市立博多中学校 1年	Ratatouille(ラタトゥイユ)
特選	川崎 瑛太 (男)	鹿児島県 鹿児島市立星峯小学校 3年	ふっかつ、ぜんめつした生き物たち
特選	本田 祐之介 (男)	鹿児島県 鹿児島市立武小学校 4年	宇宙飛行士
特選	植山 樹優 (女)	大阪府 関西学院初等部(播磨絵画教室) 4年	農業女子
特選	大川内 望夢 (男)	鹿児島県 阿久根市立臨本小学校 5年	農業をする自分
特選	Rowshon Habib (男)	バングラデシュ 夢みるこども基金学校 高3	自然の中での描き
入選	浦 輝貴 (男)	東京都 慶應義塾幼稚舎 1年	自ぜんを守る
入選	まつもと はんと (男)	福岡県 福岡市立曲淵小学校 1年	ぼくは、よこづなになりたいです。
入選	並川 健太郎 (男)	福岡県 田川市立伊田小学校 1年	鳥にのって空をとびたいな
入選	中野 瑛太 (男)	鹿児島県 鹿児島市立武小学校 3年	歴史はかせ

第23回 作文の部・入賞者リスト(25名) 応募総数/1,217点

	名 前	学 校 名	題 名
最優秀賞	仲岡 彩 (女)	福岡県 福岡市立弥永小学校 1年	わたしのかなえたいゆめ(お父さんの病気を治す薬をつくる)
優秀賞	西山 凜音 (女)	鹿児島県 鹿児島市立紫原小学校 5年	初日の出への誓い
優秀賞	渥美 日菜子 (女)	福岡県 田川市立弓削田小学校 2年	おせちを作りたい
特撰	真鍋 華琉 (女)	鹿児島県 鹿児島市立鶴池小学校 3年	動物の心の声を聞きたい
特選	豊田 真都 (女)	広島県 山陽女学園中等部 1年	みんなの笑顔が私の笑顔の源
特選	五十嵐 令 (女)	神奈川県 鎌倉女子大学初等部 4年	小さな世界の大きな夢
特選	河野 瑛太 (女)	福岡県 行橋市立行橋北小学校 3年	ゆめのバス
特選	中村 朱里 (女)	福岡県 福岡市立田隈小学校 3年	ぜったいなるぞ!ピアニスト
特選	中西 詩織 (女)	岐阜県 美濃加茂市立西中学校 2年	立志の作文(作家になりたい)
入選	山口 リン (女)	鹿児島県 鹿児島市立紫原小学校 5年	夢に向って
入選	足立 万里雄 (男)	茨城県 石岡市立石岡小学校 3年	ぼくのかなえたいゆめ、自然かんきょう
入選	千葉 梨紗子 (女)	宮城県 東松島市立矢本第二中学校 2年	挑む勇氣
入選	山口 伸太郎 (男)	大阪府 関西創価小学校 6年	宇宙から授業を

	名 前	学 校 名	題 名
入選	花井 理子 (女)	和歌山県 和歌山信愛中学校 1年	「NEW」をつくる
入選	藤吉 優奈 (女)	岐阜県 美濃加茂市立西中学校 2年	立志の作文(立派な大人に成長できるように)
入選	森松 花菜 (女)	福岡県 筑紫女学園中学校 2年	自分の意志を貫くことができる人
入選	笈田 玲於名 (女)	和歌山県 和歌山信愛中学校 1年	私の夢(音楽の力によって病気を治す医者になりたい)
入選	北岡 歩夢 (男)	徳島県 徳島文理中学校 1年	様々な視点の中で
入選	角 明利 (女)	広島県 山陽女学園中等部 1年	同じ命
入選	坂井 美友 (女)	福岡県 筑紫女学園中学校 2年	私のためにも父のためにも
入選	岡本 唯愛 (女)	宮城県 東松島市立矢本第二中学校 2年	明日へ
入選	Tauhida Khatun (女)	バングラデシュ 夢みるこども基金学校 中1	宇宙物理学者になりたい
入選	Jim Sultana (女)	バングラデシュ 夢みるこども基金学校 6年	模範になるような教員になりたい
入選	Papri Aktar (女)	バングラデシュ 夢みるこども基金学校 高3	学生支援できる団体を作りたい
入選	Shahida Akter Summa (女)	バングラデシュ 夢みるこども基金学校 高3	農村開発に貢献したい

これまでも、これからも。子どもたちに夢を！ 1995年～2017年



イメージキャラクター
はミンギ・ハックン

これまでの 夢みるこどもキャンペーン 夢実現イベント

設立以来23年間、ご提供頂きました“金属冠”は
換金され、夢みるこどもたちへの支援のほか
被災地や福祉、海外の支援にも役立てられました。
これからも皆さんのご協力を得て、
こどもたちの夢の実現に、
取り組んでいきたいと思ひます。



第20回
H26.8 祝成人 夢みるこども基金
新たな旅立ち

20年記念イベントを開催。これまでのイベントに参加したこどもたちも参加し、総勢29名による「夢」の巨大貼り絵制作や、新進気鋭の作曲家の講演・ミニコンサート、こども意識調査の発表などを催した。前夜祭の「夢みるこども基金の森」では、トランペットの生演奏、記念植樹をした。



第16回
H22.7,31.8 「夢みるこども基金の森」開設と
「命」をテーマにしたイベント

佐賀県背振山系に「夢みるこども基金の森」を開設。翌日は福岡市内で「命の現場をみつめて」のテーマでホスピス病棟などの慰問をした。



第12回
H18.7 いつか笑いがモノを言う
～人生は笑顔から～

福岡市で開催。絵本の読み聞かせやマジックショーなどを行った。ドイツで心臓移植手術を受ける少女のための募金の応援をし、基金からも寄付金を贈った。



第21回
H27.7 日本とバングラデシュの
夢と絆の架け橋

夢みるこども基金の援助で平成12年バングラデシュに開校した「夢みるこども基金学校」から副校長と中学生5人がイベントに参加。基金のこどもたちと歌や踊りなどを通じて交流した。「合同イベント」は両国のこどもたちの悲願だった。



第17回
H23.7 東日本大震災被災地と結ぶ絆
～こどもシンポジウム～

宮城県女川町の中学生4人と教師を招き、「こどもシンポジウム」を開催。震災への対応や、新エネルギーなどについて話しあい「こども宣言」として発表した。平成23年末に3頭目の盲導犬を寄付した。



第13回
H19.8 夢と希望をメロディーに乗せて
～こども音楽祭～

こどもたちの歌の合唱、盲学校生の太鼓演奏、居合道などで交流を深めた。また、こどもたちとアグネス・チャン理事が福岡県西方沖地震で被災した玄界島も慰問した。



第22回
H28.7 大地震について学び支え合う
～被災地のこどもたち集結～

阪神淡路、東日本、熊本の震災地のこどもたちが集結。大地震について学び、助け合うことを誓った。



第18回
H24.7 夢と宇宙と森と

かやぶき屋根の「やまびこ交流館」で、星の観察会、蚊帳での宿泊を体験。「夢みるこども基金の森」で林業体験、秘密基地作りを通して自然を学ぶ。



第14回
H20.8 地球を守るために
『こども隊』出動

地球環境保護をテーマに「環境こどもサミット」を開き、佐賀県内の国有林に「夢みるこども基金の森」を開設することや、「環境こども新聞」の発行を決めた。



第23回
H29.7 夢を叶えるこどもたち
～羽ばたけ未来へ～

23年間の基金の活動の中でこどもたちがどのように成長し、夢を叶えたか、夢に向かって努力しているか、などを「先輩」たちが語った。その後中学生も、現在追いかけている夢を発表した。



第19回
H25.7 東日本大震災被災地と絆を強く
～石碑建立応援プロジェクト～

宮城県女川町の「女川いのちの石碑プロジェクト」を応援する街頭募金を行い、防災についてのシンポジウムを開いた。「夢みるこども基金の森」では、自然観察などを楽しんだ。



第15回
H21.8 松林の中で環境音楽祭

福岡市と佐賀県唐津市で開催。福岡市中心部の公園などのゴミの清掃後、唐津市・虹ノ松原国有林で「環境音楽祭」を開催。唐津市内の4高校の brassバンド演奏などで盛り上がった。



第9回
H15.8 日本の心をイラクの
こどもたちへ

福岡市で開催。日本古来の玩具（竹トンボ、コマなど）、パッチワーク作りなど。教材費を添えてイラクのこどもたちに贈った。



第6回
H12.8 アフリカ大地に根付け
こどもたちの願い

福岡県宇美町の農家で開催。内戦で苦しいアフリカ・スーダンに贈る食物の種子を収穫し、現地に送った。



第2回
H8.7 阿蘇こどもみどり村

熊本県阿蘇で開催。筋ジストロフィーの少年バンドを招き、アグネス・チャン基金理事とジョイントコンサートなどをした。



第10回
H16.8 こどもたちが結ぶ10年の夢

福岡市で開催。1～10回までのイベントに参加したこどもたちが基金の「10年の歩み」を振り返り巨大な張り絵を作った。（その絵をバックにアグネス・チャン理事）



第7回
H13.8 バリアフリーの社会を作ろう

福岡市で「こどもシンポジウム」を開催。バリアフリーについてのこどもたちの意見をまとめ、小泉首相や行政機関に届けた。また、九州盲導犬協会へ盲導犬1頭を寄贈した。



第3回
H9.7 世界のこどもと手をつなごう

バングラデシュ・カラムディ村から教師とこどもたち3人を招き「夢みるこども基金学校」の建設資金を贈った。



第8回
H14.8 世界のこどもたちと交流

福岡市で開催。「歌・踊り・食・遊び」を通じて国際交流を行った。食事のチケット代を留学生に寄付。



第4回
H10.7 夢の放送局

福岡市・キャナルシティ博多に「夢の放送局」を設け、こどもたちが自分の夢と音楽を発信。「夢みるこども基金学校」の募金もした。



夢みるこども基金の森

基金の森は、2010年にできました。5.6haの森林内は、ほとんど人の手が入らずに、自然のままの植生が残っています。今では、夏のイベントの目玉の一つです。イベントの前夜祭は必ずここであります。イベントに参加したこともたす。夏休みなどで基金の森へ訪れたという話も、最近はよく聞くようになりまし。森の中で、こどもたちは秘密基地をつくったり、自然観察をしたりします。森にはこどもたちの笑い声が響きます。森の中でこどもたちが夢になつて楽しんでる姿をみていると自然に笑顔が広がります。

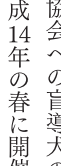


夢みるこども基金の森「自然観察」

盲導犬「はっくん3号」

夢みることも基金が、九州盲導犬協会への盲導犬の寄贈を始めたのは、今から15年前、平成14年の春に開催された「ことも会議」で福祉について話し合い、夏のイベントでは「バリアフリーの社会を作ろう」のテーマでシンポジウムを催し、九州盲導犬協会への盲導犬贈呈を決めたことにさかのぼります。

基金は、これまでに3頭の盲導犬を寄贈しています。



盲導犬
はっく
3号

市内の河口まき子さんのパートナーとして活躍しています。

なお「はっくん」は夢みることも基金のイメージキャラクターです。こどもの「夢」と歯の型から生まれました。盲導犬の愛称もここから名付けられました。

OB・OG会

これまでの23年間で、夢みることも基金のイベントには、大勢のこともたちが参加してくれました。最初の頃の参加者は、すでに成人し、それぞれが様々な方面で活躍されています。ここ10年では、小学生、中学生だったこともたちは、高校生や大学生になりました。過去に基金のイベントに参加し、夢について考えたこともたちが、今のこともたちの夢を応援するため、基金のOB・OGとなってイベントのお手伝いをしてくれています。それがOB・OG会です。今年のイベントにも、9名のOB・OGが参加してくれました。当時のこともたちが今のこともたちの前で自分の夢や目標を語る姿は、とても微笑ましいものでした。今後もOB・OG会として、これからイベントに参加することもたちを応援していこうと思っています。

保護者の会

全国の歯科医院の先生方、日頃より歯の健康を守って頂き、ありがとうございます。

歯科医院様が不要になった金属冠をご寄付して下さることに、子どもたちは目をキラキラに輝かし、夢について仲間と語り合ひ、楽しく過ごし、「夢の実現」につなげていきます。

私たち親も、先生方と共にこどもたちの夢を応援出来ますことを嬉しく思い、先生方の優しさに深く感謝し、御礼申し上げます。

今年で「夢みることも基金」は23年目を迎えました。未来を担うこともたちのために、これからもご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

保護者の会 会長 緒方桃子
副会長 金子通子

夢みるこども基金学校

2000年に100人弱の生徒と4人の教員をもって学校が始まりましたが、現在は1,200人以上の生徒と47人の教員・職員で運営されています。基金学校は開校以来県内で学業成績や課外活動の分野でトップを走っていますが、最近ライバルも出てきました。基金学校はモデルを作り、カリキュラムを絶えず更新したり、研究授業を行ったりとすることで県内トップの座を維持しています。今年、高校卒業生の半分以上は国立大学に入学し、医者や弁護士などを目指しています。



独立記念日を祝うラリー(12月16日)

読売新聞に
夢みることも基金のイベントが
掲載されました

二つの震災支え合い

地震で家財を失いながら交流を深め、助けてきた人々がいる。22年度の阪神大震災で両親を亡くした神戸市北区的吉田雄吉さん(34)と昨年の熊本地震で家族を失った熊谷昭志さんの甥方由美さん(56)。吉田さんが被災経験、姉方さんの実家にホームステイしたことで生じた不思議な絆。

△初孫誕生でメモロメロで 時、阪神大震災で神戸市東灘区の自宅が全壊し、隣で暮らしていた両親を亡くし、祖父に引き取られた。

「また会いたいなあ」。
そう語す吉田さんにとって
緒方さんは特別な人だ。
「私が立ち直るのうす支
えにくれた、かげがえの
い存在です」

2人の出会いは22年前。
吉田さんは小学6年生の
阿蘇山を望む雄大な景
た。緒万さん宅だった。
トファミリー宅に2泊し



神戸と熊本の女性 交流22年

稚園の先生だった母の背を
を追うように保育士と



「阪神」で両親犠牲 阿蘇にホームステイ 縁

り、2児の母となった。

「綾香ちゃんは、自分の人生を歩み出せたんだな」

が今では自分が被災者である。昨年4月の熊本大地震。熊本県合志市で被災し、1週間の車中泊を強いられた。家族は無事だったが、吉田さんを迎えた南阿蘇の村は被災し、取り壊された家になった。吉田さんが安西を心配し、泣きながら自分と連絡をとろうとしていたことを後で知った。

2人月後、2人は福岡市内で開かれた被災者支援のあり方を考えるシンポジウムで再会を果たす。出合いのきっかけとなったホームレスの話を聞いた同窓生ホームズの主席で、2人はバネリストとして登壇。東日本大震災を機に、被災した子供を多めに招き入れた「絆方さん」は、心なで傷ついたら私を助けてくれたと、1つ方体験を語り、絆方さんは今、同様の地で心細い時、誰かちゃんの姿が浮かぶと、話しはみんな、誰かを支え、支え

小中学生23人夢語る

アクロスでこども会議



聞くことも決めた。
会館に先立ち、横濱秀賢の表紙もあり、作文の部では福岡市立坂水小1年の仲田彩香さん(7才)が、文藝の部さん(30才)の藤岡とがんとを治す夢を登場、「お小遣いで本を買い、ウイルスについて調べています。病気を治す薬を絶対に作り、貰いたいのにみんなで遊みたいですよ」と元気に綴り上げた。

定期理事会

**協力歯科医院として
新規32件の会員登録をいただきました。**

夢みることも基金の平成29年度定期理事会が5月19日、福岡市中央区の天神ビル11階の5号会議室で開かれました。理事12人と監事、顧問、顧問税理士ら3人が出席。体調不良で欠席した理事長に代わり、中島和男常任理事（西南学院大学教授）が議長を務めました。

中島氏は冒頭の挨拶で「基金にとって明るい話もあります。金属冠回収収益が前年を約400万円、夢の作文と絵も約300件それぞれ上回りました。また、協力歯科医院も32件の新規登録があり、喜んでいきます。しかし、基金財政は厳しい状態が続いており、皆様からアドバイスを頂き、上回りに転じたいと思っております」と述べました。

例年通り議事の第1部は役員改選で常任理事4人と理事3人の再任が承認されました。監事2人のうち1人が交代しました。顧問の田中儀夫氏（元読売新聞西部本社福岡総局長）と臼田貞夫氏（元夢みることも基金理事長、元日本歯科医師会長が高齢のため退任されました。実行委員8人の再任と2人の退任も原案通り承認されました。

この後古市事務局長から平成28年度の活動報告と補綴金属回収報告がありました。活動報告では全国約7万件の全歯科医師に初めて「基金だより」を配付、32件の協力歯科医院の申込みがありました。また読売新聞大阪本社の記者が「阪神大震災」の特集記事取材の中で基金の27年度のイベント「大地震について学び支え合う」被災地のこともたち集結」に気付き、大阪と西部本社（九州）の社会面トップ記事で取り上げてくれ反響を呼びました。これらのことが後押しになり「夢の作文と絵」の応募も前年を約300点上回る1,699点でした。補綴金属の回収は147件、40,268g、件数、重量とも前年を上回り金額は15,579,402円で前年比4,354,650円のプラスでした。これでも財政的に苦しく、29年度の予算案も相当切り詰めました。

議事の第2部では吉田雅俊顧問税理士が平成28年度の収支報告書と貸借対照表を基に会計決算を説明し、木村友則監事が「監査の結果適正である」との監査報告をしました。



歯医者さんありがとう企画

向歯科診療所 北海道茅部郡森町



向 宣男 理事長・院長

こどもたちは私たちの希望

基金を支えて16年

夢みることも基金は今年23年目に入りました。これまで基金運営に不安を感じたことはありませんでしたが平成28年度金属冠回収益が大きく落ち込み、今年も年度末近くまで同じような状況が続く「もう基金運営も駄目かな」と不安がよぎりました。そんな中で向歯科診療所や中村歯科医院（鳥取市）など、147の協力歯科医院の方から金属冠が届き、ピンチを脱することができました。

窮状を救って頂いた先生方にお会いして、今後の基金運営などについての意見をお聞きすることになりました。向院長（58）は自分の患者以外の一般の人たちからも金属冠を集めようと町役場支所に回収箱を設置してくださったこともあり、まずお会いすることにしまし

た。森町は函館から特急電車で約50分。蝦夷富士駒ヶ岳などに三方を山に囲まれ、人口約15,000人。診療所は祖父が大正14年（1925年）に開設。向院長は三代目。スタッフは3人の歯科助手。診療所に住宅を構え、人への思いやりと愛をモットーに夜間診療やお年寄りの巡回診療などを通して患者との絆が強く、仕事外でも「頼りになる先生」です。

日本歯科大校友会の呼び掛けで平成9年に基金の協力歯科医院になり平成13年から毎年金属冠を送って頂いています。

向院長は「世の中で一番大切なものは教育。特にこどもは環境として、よくても悪くもなる。夢みることも基金がバングラデシュに学校を建て教育に力を入れていることに共感を覚えた」と話されました。

そして、「自分が診たこどもが成長して会いに来てくれるのが一番嬉しい。日本の将来に明るい希望を持って生きていける仕事です」と力を込められました。

基金の運営についても様々なアドバイスをもらいました。「来てよかった。もっと多くの歯科医の先生方にお会いして基金の活動を盛り上げてもらいたい」と思いました。

全国のこどもたちは様々な夢を抱いてこのキャンペーンを楽しみにしています。そのこどもたちを支えてくださる歯科医師の先生方がいらっしやる限り、基金をつぶしてはならない」と「北の大地」で強く思いました。

夢みることも基金事務局長
古市 悟

おかべ歯科医院

福岡県福岡市早良区



岡部 知剛 院長

60歳でボクシングのチャンピオン！

「夢や目標を持って努力することが大事」

岡部知剛先生は「夢みることも基金」に毎年沢山の金属冠を寄付してくださる歯科医師です。そして、中国武芸の達人でもあります。

先生の歯科医院とご指導される道場知剛塾は併設されていて、塾には大きなリングや沢山の練習器具が置かれ、数々のトロフィーや賞状、そして多くの仲間との写真が飾ってあります。

岡部先生はどんな試合でも結果にこだわらず、日頃の練習の成果を発揮することを目指されています。今年還暦を迎えられた先生は、6月11日に熊本で開催されたボクシング大会の30歳以上の部で見事、優勝されました。

この部門には36人が参加していましたが60歳以上の出場者は先生だけだったそうです。ボクシングは足技を使わず試合を行うので、先生は大会前には主に手を使った練習を行い、減量のためのメニューを自ら考え、ご家族も協力されています。

門弟の方々も、トレーニングやボクシングの練習相手になり、本番ではセコンドとして、先生の心と体の

両方を支えてくださったそうです。決勝戦では1ラウンドKO勝ちを収めた先生ですが身に余るようなお力を天から頂きました。」とご謙遜されていました。

しかし、僕はやはり、先生の、周りの方々に對する感謝の気持ちと、日々の努力によって圧倒的な勝利を収められたのだと確信しています。

僕も先生のようにとても強く心優しい、尊敬される大人になりたいです。最後に、岡部先生から、僕たち夢に向かって努力しているこどもへのメッセージです。

「自分の夢や目標を持って努力することは、とても大切なことです。家族の支えやご指導くださる先生、応援してくれる仲間がいるからこそ夢に向かって努力出来るのです。皆さんも周りの人達に感謝の気持ちを忘れず、日々努力を積み重ねていってほしいです。応援しています。」

夢みることも基金18回生
久留米大学附設中学校2年
緒方 太郎

人 事

※敬称略、50音順

理 事 長 常 任 理 事	(再任)	八尋 晋策	元読売新聞西部本社論説委員・経済部長
	(再任)	植木 とも子	ユーテラス合同会社代表社員、長崎大学講師、元福岡市教育長
	(再任)	江口 伸幸	公益財団法人新聞通信調査会理事、元時事通信社常務取締役総務局長
	(再任)	中島 和男	西南学院大学教授
	(再任)	中原 淳一	東海旅客鉄道(株)勤務
理 事	(再任)	古市 悟	元読売新聞西部本社編集局部長、元スポーツ報知西部本社取締役編集部長
	(再任)	古川 洋	元福岡放送専務取締役
	(再任)	八尋 晋策	(前記)
	(再任)	大島 敏男	元NHK特別主幹
	(再任)	岡部 憲和	夢みることも基金OB・OG会副会長、九州大学大学院システム生命科学府一貫制博士課程4年
監 事	(再任)	長尾 怜美	夢みることも基金OB・OG会会長、歯科医師(歯学博士)
	(再任)	中村 美穂子	なかむら歯科こども歯科クリニック院長
	(再任)	濱屋 江里	夢みることも基金OB・OG会監事、神戸女学院大学文学部総合文化学科4年
	(再任)	藤芳 素生	NPO法人日本水フォーラム監事、元国土交通省近畿地方整備局長
	(再任)	堀江 健一郎	夢みることも基金OB・OG会監事、東京農業大学国際食料情報学部食料環境経済学科4年
顧 問	(再任)	山田 日出夫	九州大学名誉教授
	(再任)	山田 英夫	元日本通運(株)副社長
	(再任)	長田 行生	元日本通運(株)常務執行役員(九州ブロック地域総括・福岡支店長)
	(再任)	森 博己	森博己税理士事務所所長
	(再任)	古賀 和孝	古賀・花島法律事務所所長、元日本弁護士連合会副会長
顧問弁護士 顧問税理士 事務局長	(再任)	吉田 雅俊	吉田雅俊税務会計事務所所長、西南学院監事、梅光学院監事
	(再任)	古市 悟	(前記)

1年間、夢実現のために
準備・活動します！

夢実現プロジェクトの流れ（夏休みに行うメインのイベント）

作文・絵の募集



9～1月
中旬

毎年9月1日～翌年1月15日まで「夢」をテーマに作文と絵を募集します。

審査



2月
中旬

理事・役員たちによる
厳選な審査。

こども会議



3月
下旬

毎年春休みにコンクール上位入賞者が
福岡に集まり開催しています。

イベント開催



8月

毎年夏休みに「こども会議」で決まった
内容でイベントを行っています。

夢みるこども キャンペーン・協力歯科医院登録FAX用紙

右のキリトリ線から切り取り、FAXにてご送信くださいますようお願い致します。

住 所	郵便番号	〒	
	都道府県		
	市区郡町名番地		
	マンション名 ビル名		
医 院 名		ふりがな	
院 長 名		ふりがな	
T E L		()	—
F A X		()	—
メールアドレス		@	
*通信欄(ご意見・ご要望などありましたらご記入ください)			

- *ご登録を頂きましたら、事務局から待合室に貼るポスター、回収箱などをお送り致します。
- *定期回収は毎年秋ですが、補綴金属は随時受け付けています。少量でも結構です。
- *金属をお送り頂く際は、集荷フリーダイヤル(ゆうパック)【0800-0800-111】にお電話頂き“基金着払い”でお送りください。
- *事務局へ連絡くださっても結構です。
- *登録費、年会費はございません。

「基金の流れ」は裏表紙に掲載しております。

「夢みるこどもキャンペーン」の活動については右記ホームページをご覧ください。



ご登録FAX 番号

FAX 092-751-0249

※右のキリトリ線から切り取りFAXをお送りください。

キ
リ
ト
リ
線

ホームページをご覧ください

夢みるこども基金や、これまでの活動について詳しく知りたい方は、ぜひ、
夢みるこども基金ホームページ<http://www.yumemirukodomo.jp>を
ご覧ください。昨年、デザインを一新し、多くの人に親しみやすいものになりました。

ホームページでは、過去の受賞作やイベント内容はもちろん、コンクールの募集など、
基金の最新情報をお届けしています。
インターネットで、「**夢みるこども基金**」と検索すれば、すぐに閲覧出来るようになっています。

ホームページを
開設している
歯科医院の方は
リンクを
ご検討ください



スマートフォン
からもご覧に
なれます。



患者様から歯科医院への
メッセージがご覧になれます。

基金へのお申し込みは
HPからでも行えます！

PC

<http://www.yumemirukodomo.jp>

夢みるこども基金

検索

携帯電話

QRコードから



TEL

基金事務局

☎ 092-751-0021

FAX

基金事務局

FAX 092-751-0249

FAXからのお申し込みは左ページをご覧ください

ご協力頂いている
歯科医院数
(都道府県別)

全国合計 **1,120** 件
平成29年4月14日現在

新
ご
協
力
歯
科
医
院

- もくだい歯科医院(東京都)
- あつ歯科(東京都)
- たなかファミリー歯科(大阪府)
- たなかデンタルオフィス(長崎県)
- いけがみ小児歯科(広島県)
- のぐち歯科クリニック(大阪府)
- 片山歯科医院(岡山県)

- 内田歯科クリニック(岩手県)
- 中村歯科(滋賀県)
- 梨の木デンタルクリニック(茨城県)
- ワイワイデンタルクリニック赤池(愛知県)
- かたうみ歯科医院(東京都)
- スマイルデンタルクリニック(茨城県)
- 宗近歯科医院(広島県)

- 松嶋歯科医院(岩手県)
- さいとう矯正歯科クリニック(千葉県)
- 外丸歯科医院(群馬県)
- したら歯科矯正歯科医院(群馬県)
- いしかわ歯科クリニック(北海道)
- 大谷歯科医院(東京都)
- おかもと歯科医院(鹿児島県)

- 盛池歯科クリニック(山梨県)
- 伊藤淳二歯科診療室(東京都)
- 岡田歯科医院(愛知県)
- 中村歯科医院(香川県)
- 平尾歯科(福岡県)
- ふじもと歯科クリニック(山口県)
- やつづか歯科医院(山口県)

- 綿谷歯科クリニック(大阪府)
- こうさか歯科(東京都)
- 岩尾歯科(和歌山県)
- 永山歯科医院(岡山県)
- 八潮歯科医院(埼玉県)
- しずや歯科クリニック(埼玉県)

〈順不同〉